

MoMCA サテライトミュージアム

岐阜県多治見市にある岐阜県現代陶芸美術館は、近現代の陶芸を専門とする美術館です。英語名 Museum of Modern Ceramic Art, Gifu の略称から、MoMCA（もむか）として親しまれています。MoMCA は設備改修工事のため来年 2022 年 9 月上旬まで、休館することとなりました。この間、県内各地で当館コレクションをお楽しみいただける「MoMCA サテライトミュージアム」を開催します。

*新型コロナウイルス感染症の状況により、展覧会や関連の催しに変更が生じる場合があります。

*詳細・最新情報は順次、各館のウェブサイト等でお知らせいたします。

休館のお知らせ

2002年の開館からもうすぐ20年。

休館期間中は、県内各地で

「MoMCAサテライトミュージアム」を開催します。

最新情報はウェブサイトやSNSをご覧ください。

またこの場所でお会いできるまで、

いろいろな場所、さまざまな形で、

引き続きみなさまとつながっていきます。

これからも、MoMCAをどうぞよろしくお願いたします！

MoMCAサテライトミュージアム



瑞浪市陶磁資料館 11月20日(土)–2022年2月20日(日)

神戸町日比野五鳳記念美術館 12月11日(土)–2022年1月23日(日)

飛驒市美術館 2022年2月5日(土)–3月13日(日)



【広報用写真の利用について】

本展覧会を紹介いただける場合に限り、画像データ（1点 300～500KB程度）をお送りします。希望される方は、次の必要事項を記載し、下記担当までメールまたはFAXにてお知らせください。

1. 利用希望の写真の番号 / 2. 貴社名（ご担当者名） / 3. ご住所 / 4. 電話番号・FAX /
5. E-mail / 6. 掲載媒体名 / 7. 題目 / 8. 掲載予定日 / 9. その他（連絡事項などある場合）

【本事業に関するお問合せ・写真利用申込】

担当 芝（岐阜県現代陶芸美術館学芸部）

写真担当 野田・廣澤

住所 岐阜県多治見市東町 4-2-5(セラミックパーク MINO 内)

TEL: 0572-28-3100 FAX: 0572-28-3101

E-mail: museum.1@cpm-gifu.jp



岐阜県現代陶芸美術館
Museum of Modern Ceramic Art, Gifu

MoMCA サテライトミュージアム

岐阜県現代陶芸美術館コレクション やきもので暮らす



展覧会概要

岐阜県現代陶芸美術館では、「陶芸の現代」をテーマに19世紀末以降を対象として、国内外の近現代の陶芸作品を収集しています。コレクションの範囲は、個人作家の陶芸作品はもとより、作家が少量生産する実用の器や、量産を想定しつつ、デザイン性や芸術性を追求する産業陶磁器も含まれます。実用の器や産業陶磁器にも注目している点が、当館の大きな特色です。2022年に開館20周年を控え、コレクションは2000点を超えました。

神戸町日比野五鳳記念美術館では、作家による名品と共に、「やきもので暮らす」をテーマに、国内外の実用・産業陶磁器を取り上げます。第1展示室では、明治の“超絶技巧”作品から、美濃が誇る重要無形文化財保持者（人間国宝）の作品まで、近現代陶芸の流れを俯瞰できるコレクション約20点をご紹介します。続いて第2展示室では、日々の生活で使う／日々の生活を彩るやきものを展示いたします。使いやすさや機能美を追求したうつわや、華やかな気持ちを演出してくれるティーカップ等、約20件の作品をお楽しみください。「おうちにあったらいいな」を探しに、あなたの好きなライフスタイルを見つけてみませんか？

展覧会情報

- 会 期 : 2021年12月11日(土)～2022年1月23日(日)
- 休 館 日 : 毎週火曜日・年末年始(12月28日～1月4日)
- 開館時間 : 午前9時～午後4時(入館は午後3時30分まで)
- 会 場 : 神戸町日比野五鳳記念美術館 第1・第2展示室
- 主 催 : 岐阜県現代陶芸美術館、神戸町教育委員会
- 観 覧 料 : 無料

見どころ

■近現代日本の陶磁史を一望できる

万国博覧会で数多く受賞した明治の陶工・初代宮川香山、個性と創造性を発揮した富本憲吉、民藝運動を促進したバーナード・リーチ、河井寛次郎らの名品を一望できます。また器の概念に挑戦した走泥社の作品も並びます。

■岐阜県が誇る、陶芸の重要無形文化財保持者（人間国宝）の作品が一覧できる

岐阜県的美濃地方は陶芸で数多くの重要無形文化財保持者（人間国宝）を輩出しています。桃山の茶陶を追い求めた荒川豊蔵をはじめ、海外の技法と美の再現に注力した加藤土師萌、塚本快示、加藤卓男の他、現代の人間国宝である鈴木藏、加藤孝造の作品をご紹介します。

■「やきもので暮らす」をテーマに、やきものならではのライフスタイルをご提案

岐阜県現代陶芸美術館のコレクションには、実用を目的とした器が含まれています。今回は身近にある様々なやきもの機能に着目します。やきものならではの機能や工夫に注目することで、鑑賞するだけでなく、見ている方が「おうちにあったらいいな」と思える、ライフスタイルをご提案します。

関連イベント

■学芸員によるギャラリートーク

12月12日(日)、2022年1月10日(月・祝)、1月23日(日)

各日とも 13:30～14:00

会場：神戸町日比野五鳳記念美術館

参加費：無料

事前申込不要

■MoMCA やわらかアート・ツアー

2022年1月8日(土) 14:00～14:30

会場：神戸町日比野五鳳記念美術館

参加費：無料

事前申込不要

■ワークショップ「2022年ニューイヤープレートをつくろう」

12月18日(土) 13:00～15:00

講師：柴田正太郎氏(株式会社深山)

会場：神戸町中央公民館

参加費：500円

要事前申込(定員15名)

申込方法：神戸町ウェブサイトをご覧ください。

各催事は新型コロナウイルス感染症の拡大状況等により、変更が生じる場合がございます。最新の情報は神戸町ウェブサイトをご覧ください。



アラビア(フィンランド)
《ピッチャー「ストーリーボード」》



ローゼンタール《魔笛ゴールド》



森正洋《G型しょうゆさし》



エミール・ガレ《木の実に蜻蛉図皿》



鈴木治《天馬横轉》



鈴木藏《志野茶碗》

<input checked="" type="checkbox"/>	番号	ご掲載時のキャプション表記
<input type="checkbox"/>	①	アラビア 《ピッチャー「ストーリーボード」》 1993年 岐阜県現代陶芸美術館蔵
<input type="checkbox"/>	②	ローゼンタール 《魔笛ゴールド》 1968年デザイン 岐阜県現代陶芸美術館蔵
<input type="checkbox"/>	③	森正洋 《G型しょうゆさし》 1958年デザイン 岐阜県現代陶芸美術館蔵
<input type="checkbox"/>	④	エミール・ガレ 《木の実に蜻蛉図皿》 1880年代後半 岐阜県現代陶芸美術館蔵
<input type="checkbox"/>	⑤	鈴木治 《天馬横轉》 1973年 岐阜県現代陶芸美術館蔵
<input type="checkbox"/>	⑥	鈴木藏 《志野茶碗》 2002年 岐阜県現代陶芸美術館蔵

【写真利用申込】

担当 芝(岐阜県現代陶芸美術館学芸部)
写真貸出担当 野田・廣澤

住所 岐阜県多治見市東町4-2-5(セラミックパーク MINO内)
TEL: 0572-28-3100 FAX: 0572-28-3101
E-mail: museum.1@cpm-gifu.jp